



車両検修部門（田端・尾久）統合についての提案を受ける！

新型事業用車両の導入、輸送体系の変化、世代交代と社員数の減少等の構造変化に対応するため、田端運転所の車両検修部門を尾久車両センターに統合する。なお、実施内容等については以下のとおりである。

1 実施内容

- ・田端運転所の車両検修部門を尾久車両センターに統合する。
- ・田端運転所の車両を尾久車両センターに配置する。

2 実施時期

2022年4月

3 スケジュール

年 度	2021年度		2022年度	
内 容		▽提案	★車両検修部門統合	
		準備等		

4 その他

- ・具体的な実施日等については、決定次第お知らせする。
- ・田端運転所は運転士業務を担当する区所として存置する。

輸送サービス労組

- ◆①新型事業用車両の導入、②輸送体系の変化、③世代交代と社員数の減少等が3つのポイントとしてあるが、具体的には。
- ◆なぜ尾久車両センターと田端の検修が統合されるのか理解できないため根拠を示すこと。

会 社

- ◆①については、キヤ195系の導入やE493系の導入予定。②は、レールや砕石輸送を導入予定の新型事業用車両に置き換えることによって検修対象が変わる。
- ③は、生産年齢人口の減少により新入社員も減少傾向。
- ◆どちらの区所にも長い歴史があり、強みを次世代に受け継いでいきたい。業務の融合を図り、変革のスピードアップに基づき新しい検修体制が必要なためだ。

**安全性・専門性を堅持し、安定輸送の根幹をなす、
車両検修職場をつくり出していきます！**